



学 校 便 い 琢 磨

令和5年度 第29号 R6.3.12 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える

おめでとうございます。敬称は略します。

【香川県教育委員会教育長賞】6年 亀山 凜人

【香川県小学校長会会長賞】6年 伊瀬 日南子 百々 壮太郎 西山 羽瑠

門田 陽登 山下 ひなた

【香川県学校体育会賞】6年 妹脊 尽 山下 瑠己翔

【6 か 年 皆 勤 賞】6年 大西 那央 香川 爽花 黒田 悠妃

高瀬 悠真 名越 理久 林 歩美



校庭の桜のつぼみ

※ 本日の卒業式予行の前に、表彰状を授与しました。

室内での防寒対策を終了します

寒の戻りも本日の雨とともに終わり、明日からは平年並み、または平年より気温が高い日が続くとの予報が出ています。今週末には卒業式が行われることもあり、「室内での上着や長ズボンの着用等の防寒対策」は、3月14日（木）をもって終了いたします。

登下校時の上着等の着用につきましては、3月22日の修了式までとし、登校後にロッカー等に片付けるよう学校では指導いたします。来年度の始業式からは、標準服での登下校をお願いいたします。

なお、気温によってはエアコンを適切に使用いたしますが、体調等の関係で、室内において長ズボンや防寒着を着用する場合は、連絡帳等で担任までお知らせください。

西門（給食調理場と芝生広場の間）の通行禁止について

最近、西門（芝生広場と給食調理場の間の給食関係者専用門）を入った付近で、車と児童が接触しかかった事案がありました。幸い事故には至りませんでしたが、今後も、給食物資を搬入する車等との事故を防ぐため、武道館や市駐車場から西門を通して、カイズカイブキの木の間を抜けて学校に入るルート、または、調理場へのスロープを通して学校に入るルートは、通行しないようお願いいたします。本校の教職員、うらしまキッズの支援員については、3月1日から通行しないように周知しております。大変、ご面倒をおかけしますが、一旦、歩道に出歩いて正門を通っての出入りをお願いいたします。

令和6年4月1日からは、西門は、毎日、夕方から朝まで施錠することといたします。

鍵がかかっていない時間帯も、西門の使用は、給食関係者に限ることといたします。4月1日までは移行期間ということで、門の施錠はいたしません。4月1日までの通行（保護者または保護者が同伴での児童の通行）に関しましては、個人の判断にお任せします。しかし、事故はいつ何時起こるかもしれません。何卒、ご理解・ご協力をお願いいたします。

■ この門は、給食関係者専用です
 ので**正門**にお回りください。



■ R6.4.1以降、夕方から朝まで施錠いたします。
 施錠していない時間帯も、給食関係の車輛が通行
 しますので、通行はご遠慮ください。

【昨日、西門に案内板を設置いたしました。】

宝くじは買わないと当たらない

昨年の年末に、コロナ禍のため4～5年は会っていなかった友人と、お酒を飲みながら、こんな話をしたのを思い出しました。

私：「年末ジャンボ宝くじ、1等は7億円、前後賞合わせると10億円だよ。もう買ったの？」

友：「もちろん買ったさ。3,000円の運試しだよ。連番で買ったので300円は確実に当たるから実際は2,700円の出費だけだよ。」

私：「でも、まず当たらないよな。お金の無駄遣いだと思わないか？」

友：「そう思う人は、買わなきゃいいだろ。まあ、実際、1等が当たる確率は2,000万分の1らしいよ。10kgの米袋を40袋集めて、その中の米1粒くらいの確率らしいよ。」

私：「2,000万分の1か。それ1枚買って当たる確率でしょう？多くの人は、10枚セットで買うから10枚だと200万分の1ということになるのかな。」

友：「さすがは、学校の先生だな。計算上ではだいたいそんなところかな。だいぶ確率が下がったな。」

私：「とは言っても、10枚買って、香川県の赤ちゃんからお年寄りまで全部合わせた2倍以上の人の中で1人だけ当たるという計算だろ。さっきの米に例えたら、10kg4袋のうちの1粒。そりゃ無理だ。絶対に当たらないわ。」

友：「だから、そう思う人は買わなきゃいいの。逆に考えてみな。まず当たらないから買わないの？全国で毎年23人も1等に当選する人がいるんだ。高額当選の可能性があると思わないか？」

私：「なるほどな。今のは、なかなか説得力があるなあ。」

友：「宝くじは買わないと絶対に当たらないんだよ。買ってもまず、当たらないんだけど買わなければ絶対に当たらないんだよ。でも実際は、当たるなんて夢にも思っていないよ。もし当たったらと、抽選結果が出るまで『夢を見させてもらっている』のかな。そして、やっぱり当たらなかった時は、『このお金の4割は、県や指定都市に納められ、防災や教育、福祉などに使われるのだから、県に寄附したようなものだ。』と自分を納得させているんだ。」

私：「なるほどなあ。しょうもない話をしていたと思っていたけど、けっこういい話だったよ。」

友：「そうだろ。学校の先生は、頭が固いから、時々、柔らかくなるようにほぐしてやるわ。ということでこの店は、お前のおごりだな。授業料だ、安いもんだろ？一人2,700円だ。頼んだよ。」

私：「宝くじの値段と同じじゃないか、宝くじ買った方がよかったなあ。」

友：「今度からそうしろ。大きく当たりますように。」

こんな話を？と思われる方もいらっしゃるかと存じますが、何気ない酒の席で、私はけっこう大切な考え方を再認識しました。もちろん宝くじを買う買わないの話ではありません。

- 自分でやろうと決めた事は、少しでも可能性がある限りあきらめないということ。何もしなければ何も始まらない。物事は、やってみないと分からない。
- 物事は、一方向からではなく、逆に考えてみることも大切。ネガティブな考えもポジティブな考えになるかも。
- 先のことを、いいイメージで描くことは、今を楽しく生きることができるということ。
- 思ったような結果にならなかったとしても、自分自身が納得できる答えを導くことも大切。
- 簡単に物事をいい悪いと判断するのではなく、できるだけ情報を集めてから判断することが大切。

友人には、「宝くじ買った方がよかったなあ。」なんて言いましたが、本当は、こんな話ができてよかったと思いました。違う仕事をしている人、違う地域に住んでいる人、自分とは趣味・趣向が違う人、年齢が違う人など、様々な人々とのコミュニケーションは、「楽しかった、つまらなかった」だけではないのだと思います。これも、話してみなければ分からないですね。